

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

就職率の高さ、女性教育に力を入れている校風に惹かれたのと、京都の地を実際に歩き、フィールドワークをしてみたのが、たからです。

受験勉強の進め方【1学期】

志望校が明確に決まっていなかったため、国公立大学も受験できるように科目は絞らずに教科書の勉強をしていました。一斉休校になった時期であり自宅学習で生活リズムが崩れやすいというタイムを活用し、できるだけ学校の時間割で勉強するように心がけていました。教科書を使って予習をし、郵送されてくる解説プリントで答え合わせをする学習方法でした。古文単語や英単語は頻繁に単語帳を開き、定期的にチェックテストを行い、確認をしていました。

受験勉強の進め方【夏休み】

家よりも塾の自習室の方が勉強に集中しやすい環境だったので夏休みは自習室にもって夜遅くまで勉強しました。問題集は自分が解けなかったところを中心に繰り返し何度もやるようにしていました。受験校を決定し、志望校の過去問に取り組みはじめたのもこの時期でした。傾向を知るために5年分の過去問を集め、解き、対策を立てました。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

共通テスト対策問題集と志望校の過去問題集の演習をしていました。「受験対策ノート」をつくり間違えた問題や不安な単語等は全て書き込みました。私はきれいなノートをつくらうとノート作りに時間をかけてしまうタイプなのでそこにこだわらなければもっと問題数がこなせたのに…と時間がもたないなかなと思います。きれいなノートを作るよりたくさん数をこなす方に時間を割くと良いです。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

体調管理に気をつけました。毎朝の検温やこまめな手洗いうがいの他にアルコール消毒をし、感染症予防に努めました。バランスの良い食事を心がけ、タンパク質を摂るよう意識しました。睡眠不足で頭がはたらかないと困るので、どれだけ忙しくても5時間は寝るようにしていました。スマホは日常的に使用制限をかけていたので受験期だからといって特別控えることはしませんでした。

受験生のみなさんへ

私は最後の最後まで良い判定が出ず苦しめられたがどうしても同志社女子大学に入りたくて受けられる日程は全て受験しました。そして念願の合格を掴み取り、こうして合格体験記を書いています。試験終了まで諦めず「私ならできる!」と信じて頑張ってください。応援しています!!

